



Mini P180 / Mini P180 White

User's Manual

Manuel de l'utilisateur

Anwenderhandbuch

Manuale per l'operatore

Manual del usuario

取扱説明書

中文使用手冊

Antecでは常に高品質を保つために商品の改良を行っております。そのためお客様のケースがマニュアルに示される詳細と若干異なることがありますが、ご使用上の問題はございません。こちらのマニュアルの出版時点では、記載されている説明は正確な内容になっております。

免責条項

こちらはAntecコンピューターケース専用のマニュアルになっております。マザーボード、周辺機器などの取り付けに関する詳しい情報は、お手持ちの製品に同梱されているマニュアルをご参照ください。

Mini P180 / Mini P180 White ユーザーマニュアル

Mini P180は、多くの機能性を備えた小型ケースです。自由な構成が可能なプロフェッショナルケースであるために電源を搭載していません。お手持ちのマザーボード、周辺機器に対応した最新の標準ATX電源をお選びください。ほとんどのATX電源にはon/offスイッチが搭載されております。初めにコンピューターを起動させる前に電源のスイッチがON (I)の位置になっていることを確認してください。通常は、コンピューターケースのソフトスイッチを通じてコンピューターのオンとオフを切り替えるソフトオン/オフ機能が電源に備わっているため、スイッチをオフ (O)の位置に切り替える必要はありません。コンピュータがクラッシュした場合やソフトスイッチを使ってシャットダウンできない場合は、メインパワーをオフ (O)位置に切り替えて、問題を解決し、再起動することができます。

セットアップ

1. 平らで安定した場所にケースを置いてください。(後部が手前になります。)
2. 右側のサイドパネルから手回しネジを取り外してください。サイドパネルの上部と下部を支えながら、手前にスライドさせ、サイドパネルを外してください。
3. 左側のフロントパネルからネジを外してください。サイドパネルの上部と下部を支えながら、手前にスライドさせ、サイドパネルを外してください。

備考:危険ですので爪を使って、サイドパネルを取り外さないでください。ケース内が上部と下部に分かれていることを確認してください。-上部はマザーボード、1つの5.25”外付けドライブ、最大で5つのHDD用、また、下部は電源と2つの外付け5.25”ドライブベイ用になります。上部の5.25”ベイは、長さ170mmまでのCDまたは、DVDドライブに対応しています。その他、印があるコネクタ(USB, PWR等)、5.25”ドライブレール、取り付け済みのI/Oパネル、5.25”-3.5”ドライブベイ変換アダプターがあることを確認してください。中央部のドライブケージを外して、ツールボックス内にその他部品(ネジ、スパーサー、シリコングロメット等がHDDケージ内にあります。)があることも確認してください。

電源の取り付け

1. ケースを真っ直ぐに立て電源をケージの中に入れてください。
備考:電源はどちらの面が上でも問題ありません。大きなファンを搭載している電源は、ファンが上部を向くように取り付けてください。
3. 上下のチャンバーを仕切るプラスチック板の間に穴がありケーブル等を上下に通すことができます。

マザーボードの取り付け

このマニュアルには、CPU、メモリ、その他拡張カードの取り付け方法は含まれておりません。特定のパーツの取り付け方法やトラブルシューティングに関しては、お持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。

1. サイドパネルを取り外した側を上にして、ケースを置いて下さい。ドライブベイと電源が見えることを確認してください。
2. I/Oパネルがお持ちのマザーボードに合っていることを確認してください。予め取り付けられているI/Oパネルがお持ちのマザーボードに合わない場合は、マザーボードメーカーにお問い合わせください。
3. マザーボードをスペーサー用の穴にあわせて置いて下さい。どの穴と一致しているかを覚えておいてください。全てのマザーボードがこれらの穴に一致するとは限りません。スペーサー用の穴は、一般的な配置になっていますので、機能面では影響がありません。
4. マザーボードを持ち上げ、ケースから出して下さい。
5. 必要に応じてスペーサーを追加し、マザーボードをケースに戻してください。
6. 同梱されている十字のねじでマザーボードをスペーサーに固定してください。これでマザーボードの取り付けが完了します。

ケーブルオーガナイザー

マザーボードトレイと右側のサイドパネルの間を通して、電源からのケーブルを収納することができます。

1. 両面のサイドパネルを外してください。
2. マザーボードトレイ裏面に収納したいケーブルを選択し、トレイ上の穴からケーブルを通し裏面に配線してください。
3. バーの裏側の隙間からケーブルを通し、ケーブルを結束するために裏面に取り付け済みの結束バンドをご利用してください。
4. 電源からのケーブルの目的地から最も近い入り口の穴からケーブルを通し、接続してケース右側にケーブルの余りを引き寄せてください。
5. 配線後、結束バンドをしっかりと締めて、右側のサイドパネルを戻してください。

ポートとLEDの接続

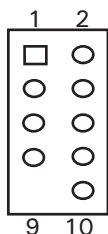
1. (RESET SWとラベル付けされている)リセットスイッチを、マザーボードのRSTコネクタに接続します。極性 (+、-) は関係ありません。
2. (POWER SWとラベル付けされている)電源スイッチを、マザーボード上のPWRコネクタに接続します。
3. (POWER LEDとラベル付けされている)電源LEDコネクタは、リセットコネクタの後ろに配置されています。こちらのコネクタもマザーボードに接続します。すべてのLEDコネクタのプラス (+) 側の線には色が付けてあります。LEDが点灯しない場合は、極性を入れ替えて接続してみてください。LED接続に関する更に詳しい情報は、お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。
4. ハードドライブLED (H. D. D. LEDのラベル付き)をHDDアクティビティコネクタに接続します。

USBポートの接続

フロントUSBポートに取り付けられているケーブル上には、10ピンコネクタが1つあります。これは誤挿入防止キー付きのIntel標準コネクタで、正規のIntel標準マザーボードヘッダーでは誤って逆向きに接続することがないようになっています。ヘッダーのピンの位置が合うようにして、この10ピンコネクタをマザーボードに接続してください。

備考: USBヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルで確認し、添付の表と一致することを確認してください。このIntel基準に一致しない場合、販売店にご相談ください。

マザーボードピンレイアウト



ピン	信号名	ピン	信号名
1	USB電源1	2	USB電源2
3	負の信号1	4	負の信号2
5	正の信号1	6	正の信号2
7	接地1	8	接地2
9	キー(接続なし)	10	空のピン

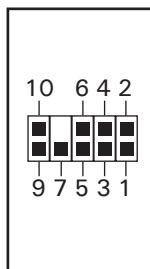
eSATA ポートの取り付け

こちらのケースの前面には、eSATAポートが取り付けられており、内部のSATAコネクタは、マザーボード上に接続する標準SATAコネクタになっています。

オーディオポートの接続 (AC'97及びHDA)

フロントパネルスピーカーおよびマイクロフォン接続から出ている、Intel®標準10ピンAC'97コネクタ及びIntel®標準10ピンHDA（ハイディフィニションオーディオ）コネクタがあり、マザーボードに対応するいずれかの1つをマザーボードに接続することができます。以下の詳細をご参照ください。

オーディオポートのピンレイアウト (HDA及び AC'97)



ピン	ピン配置 (HD AUDIO)	ピン	ピン配置 (AC'97 AUDIO)
1	MIC2 L	1	MIC In
2	AGND	2	GND
3	MIC2 R	3	MIC Power
4	AVCC	4	NC
5	FRO-R	5	Line Out (R)
6	MIC2_JD	6	Line Out (R)
7	F_IO_SEN	7	NC
8	Key (no pin)	8	Key (no pin)
9	FRO-L	9	Line Out (L)
10	LINE2_JD	10	Line Out (L)

備考: マザーボード及びサウンドカードの内部オーディオコネクタの位置を確認してください。ピン配置については、マザーボード、拡張カードのマニュアルをご参照ください。こちらのオーディオ規格は同時使用が不可能ですので、マザーボードの指定するいずれかのオーディオ規格を選択し、接続することで、オーディオジャックがお手持ちのシステムと正しく動作いたします。

HDDの取り付け

フロントパネルを正面にして、フロントドアを開きます。こちらは270度まで開き、サイドパネルと平行になります。上部に1つの5.25”外付けドライブベイと下部に2つの5.25”ドライブベイがあることを確認してください。また、上部のチャンバーには、2つの3.5”ドライブケージがあり、最大5台のHDDを収容することができます。

備考：上部の5.25”ドライブベイには、メインの5.25”デバイスを使用されることをお勧めします。

5.25”デバイスの取り付け

3つの5.25”ドライブベイがあり、それぞれのドライブの取り付けには、1対のドライブレールが必要になります。トップの5.25”ベイは、170mmの奥行制限があります。最新のCD/DVDドライブは、170mm以下の奥行きになっていますが、古いタイプのドライブはサイズが大きく、下部の2つのベイのうちいずれかに取り付ける必要があります。

1. プラスティックのドライブベイカバーを注意して取り外し、ベイを塞いでいる金属製の板を取り外してください。この金属製の板には、プラスドライバーが入る穴が開いており、そこにドライバーを差込み上下に動かすことで金属製の板の接続部分を取り外すことができます。
2. ドライブレールを5.25”デバイスの両脇に取り付けてください。レールの金属の部分が外側に開いていることを確認してください。
3. 「カチッ」と音がするまで、デバイスをドライブベイに押し込んでください。
4. デバイスの台数に応じ、この作業を繰り返してください。
5. それぞれのデバイスに電源から出ている適切なコネクタを取り付けてください。

上部HDDの取り付け

1. 上部HDDケージを支えながら、取り付けられている手回しネジを取り外してください。
2. リング（金属製の輪）を手前に引きながら、ケージを取り外してください。
3. ケージ内には、3つのHDDを取り付けることができます。HDDの両側には、シリコングロメットを取り付け垂直に取り付けます。
4. 同梱されているネジを使用して、HDDをトレイに取り付けてください。シリコングロメットを通して、HDDを固定していますので、ネジの締めすぎに注意してください。備考:シリコングロメットは、厚くなっている側が上になるようにし、HDDを取り付けてください。
5. ケージをケースに戻し、手回しネジで取り付けてください。
6. 電源から出ている適切なコネクタをHDDに接続してください。
7. HDDの数に応じて、この作業を繰り返してください。

下部HDDの取り付け

1. 下部HDDケージを支えながら、取り付けられている手回しネジを取り外してください。
2. リング（金属製の輪）を手前に引きながら、ケージを取り外してください。
3. ケージ内には、2つのHDDトレイがあります。トレイ両脇の金属製のクリップをつまみ、トレイを引き出してください。
4. 同梱されているネジを使用して、HDDをトレイに取り付けてください。シリコングロメットを通して、HDDを固定していますので、ネジの締めすぎに注意してください。備考:シリコングロメットは、厚くなっている側が上になるようにし、HDDを取り付けてください。
5. トレイをHDDケージにロックがかかるまで押し入れてください。
6. ケージをケースに戻し、手回しネジで取り付けてください。
7. 電源から出ている適切なコネクタをHDDに接続してください。
8. HDDの数に応じて、この作業を繰り返してください。

クーリングシステム

後部排気用120mm TriCool™ ファン:

このケースには、1つの120mm TriCoolファンが取り付けられています。このファンには、ファンの回転速度を3段階で選択することができるスイッチが付属しています。初期設定の速度は、「Low」です。以下の詳細をご参照ください。

120mm TriCool ファン

サイズ: 120 x 120 x 25.4mm TriCool Fan
定格電圧: DC 12V
動作電圧: 10.2V ~ 13.8V

スピード	入力電圧	エアフロー	静圧	音響雑音	入力
高 2000RPM	0.24A (最大)	2.24 m ³ / min (79 CFM)	2.54 mm-H ₂ O (0.10インチ-H ₂ O)	30 dBA	2.9 W
中 1600RPM	0.2A	1.59 m ³ / min (56 CFM)	1.53 mm-H ₂ O (0.06インチ-H ₂ O)	28 dBA	2.4 W
低 1200RPM	0.13A	1.1 m ³ / min (39 CFM)	0.92 mm-H ₂ O (0.04インチ-H ₂ O)	25 dBA	1.6 W

トップ部 200mm TriCool™ ファン

Mini P180は、1つの200 x 30mm TriCoolファンが搭載されています。このファンには、ファンの回転速度を3段階で選択することができるスイッチが付属しています。初期設定の速度は、「Low」です。以下の詳細をご参照ください。

200mm TriCool ファン

サイズ: 200 x 200 x 30mm TriCool Fan
定格電圧: DC 12V
動作電圧: 10.2V ~ 13.8V

スピード	入力電圧	エアフロー	静圧	音響雑音	入力
高 800RPM	0.3A (最大)	3.8 m ³ / min (134.11 CFM)	0.69 mm-H ₂ O (0.027インチ-H ₂ O)	29.4 dBA	3.6 W
中 600RPM	0.17A	3.07 m ³ / min (108.493CFM)	0.397 mm-H ₂ O (0.016インチ-H ₂ O)	26.5dBA	2.04 W
低 400RPM	0.08A	2.34 m ³ / min (82.612 CFM)	0.197 mm-H ₂ O (0.008インチ-H ₂ O)	23.6dBA	0 96 W

外部ファンコントロール:

ケース後面上部には、2つの外部ファンスイッチが搭載されています。このスイッチを使用することにより、ケースを開けずにファンの速度調整ができます。

備考: 通常、ファンが動作する最低電圧は5Vです。Antec電源等にあるファンコントロールやFan-Onlyコネクタを利用する際は、ファン速度を最大冷却のHighに設定することをお勧めします。ファンコントロールデバイスは、ファンの速度を電圧を変化させることで制御を行います。最小で4.5Vから5Vの間で電圧がかかるため、TriCoolをMedium(パフォーマンス)あるいはLow(静音)に設定し、ファンコントロールデバイスに接続するとファンが始動しないことがあります。ファンコントローラーですでに減圧された電圧が更にTriCoolの回路にて5V以下になることがあります。

オプションファンマウント

このケースには、オプションとしてケース前面のHDDケージ内に2つの120mmファンマウントが搭載されています。

これらの2つのファンマウントは、CPUまたは、VGAカードの冷却用に使用することができます。しかしながら、ケージ内のファンマウントを利用する際には、HDDケージを取り外す必要があります。(どのケージを取り外すかによって、結果として2、3のHDDドライブベイが使用できなくなります。) 静音システムを構築するためには、こちらにオプションファンを取り付けないことをお勧めします。

洗浄可能なエアフィルター

フロントグリルの裏側に2つのエアフィルター、下部チャンバーの内部に1つのエアフィルターが搭載されています。定期的にフィルターの洗浄が必要です。フィルターの洗浄を行わないと、ケース内の温度が上昇し、システムの安定性に影響があることがあります。御使用当初は、月に一回フィルターを確認されることをお勧めします。洗浄の頻度は、システムの利用頻度及び利用環境により異なります。(常時システムが稼働している場合は、さらに頻繁にフィルターの確認及び洗浄が必要になります。)

フィルターの取り外し:

1. フロントドアを開き、ファングリルの右端中央を押します。これによりファングリルが開きます。
2. フィルターには2つの爪があります。両手を使い、この爪を掴みながら下にスライドさせ、フィルターを取り外します。

底部フィルターの取り外し方法:

1. ロックタブをつかみ、フィルターの中央に向かって力をいれずに押してください。
2. フィルターを引き、スライドさせながら取り出してください。

このケースを利用した際の組み込みのヒントやアドバイスは、www.antec.com内のAntec's FAQをご参照ください。

Antec, Inc.

47900 Fremont Blvd.
Fremont, CA 94538
USA
tel: 510-770-1200
fax: 510-770-1288

Antec Europe B.V.

Stuttgartstraat 12
3047 AS Rotterdam
The Netherlands
tel: + 31 (0) 10 462-2060
fax: + 31 (0) 10 437-1752

Customer Support:

US & Canada

1-800-22ANTEC
customersupport@antec.com

Europe

+ 31 (0) 10 462-2060
europe.techsupport@antec.com

www.antec.com